

中南米を中心に「ジカ熱」が流行しています！ ～特に、妊婦の方は注意が必要です～

ジカウイルス感染症とは？

ジカウイルスを持った蚊が人を吸血することで感染します。
まれに、献血や性行為による感染が指摘されています。

【主な症状】

軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛などです。
また、感染しても全員が発症するわけではなく、5人に1人程度が発症
すると言われています。症状が軽いため気付かないこともあります。
現在、有効なワクチンや薬はありません。治療は症状に応じた対症療法になります。



流行地では、蚊に刺されないよう注意しましょう！

近年、ブラジルにおいて、小頭症の児（生まれつき頭が小さく、知的障害などを引き起こす）が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。

～妊婦や妊娠の可能性のある方へ～

○妊婦や妊娠の可能性のある方は、流行地への渡航を控えた方が
良いとされています。

やむを得ず渡航する場合は、主治医と相談してください。



～流行地に渡航される方へ～

○流行地では、長袖、長ズボンを着用し、できるだけ皮膚の露出を少なくす
るよう心がけてください。蚊の忌避剤（虫除け）などの利用をお勧めします。

○室内においても、蚊取り線香や殺虫剤等を効果的に使用してください。

流行地から帰国された際などに、症状があったときは？

- ・流行地から帰国された際に体調不良や心配なことがあるときは、空港等の検疫所にご相談ください。
- ・帰国後の場合は、最寄りの保健所にご相談ください。
- ・なお、発熱などの症状がある場合には、医療機関を受診し渡航地を伝えてください。

※すべての蚊がジカウイルスを保有している訳ではありませんので、蚊に刺されただけで過度に心配する必要はありません。

【和歌山県】